

群馬県立歴史博物館年報

第 36 号

平成26年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I	事業の概要	1
1	展示活動	1
2	教育普及	6
3	調査・研究	13
4	資料の収集・整理	20
5	利用状況	26
6	改修工事	31
II	組織及び運営	35
1	運営組織	35
2	歳出・歳入決算概要	35

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示

ア 展示構成

大項目	中項目	主な展示資料
-----	-----	--------

学習ホール

群馬の土地の生い立ち	オオツノシカ全身骨格模型
群馬県立体地図	立体地図模型
群馬県歴史年表	群馬県歴史絵年表
昭和のくらしコーナー	昭和30年～40年代頃の小学校の教室・昭和30年代後半の居間・昭和初期頃の農家の囲炉裏の間（復元）

第1展示室 ー原始ー

(導入展示)		岩宿遺跡出土打製石斧・削器（複製）
最古の狩人たち	岩宿人の生活	岩宿遺跡ジオラマ
	群馬の旧石器文化 石の道具	岩宿遺跡出土石器の複製、舟底形石器・抉入石器（龍ノ口遺跡）、細石刃・ナイフ形石器・スクレイパー（男女倉遺跡）、細石器（矢出川遺跡）
縄文人の生活	狩猟と採集	石鎌（普門寺・千網谷戸遺跡）、石錘（保美濃山遺跡）、打製石斧（赤子遺跡）、石皿（大門遺跡）
	自然へのおそれ	土偶（天神原遺跡）、独鈷状石斧（中野遺跡）、冠状石器（保美濃山遺跡）、勾玉（保美濃山遺跡）、垂玉（保美濃山遺跡）
	むらのくらし	三原田遺跡集落模型、住居跡平面図
縄文土器	生活の中の土器	前期の注口土器（人見遺跡）、中期の香炉形土器（東吹上遺跡）、後期の深鉢（光厳寺裏遺跡）、晩期の精製土器・粗製土器（保美濃山遺跡）
弥生土器	農耕生活の土器	前期の壺（上久保再葬墓）、中期前半の壺（中善地遺跡）、中後期の壺（高崎競馬場遺跡）、後期の壺（笹遺跡）
弥生人の生活	岩陰の墓	人歯・人骨製装身具（八束脛洞窟）、垂玉・磨製石斧・高坏（只川橋岩陰墓地遺跡）
	新しい技術	石鎌（上ノ原遺跡）、砥石（笹遺跡）、磨製石鎌（笹遺跡）
	新保遺跡・新保田中村前遺跡のくらし	新保遺跡・新保田中村前遺跡のくらし（模型）

第2展示室 ー古代ー

(導入展示)		三角縁神獸鏡複製（柴崎蟹沢古墳）
毛野の誕生	平野の開発	三角縁神獸鏡複製・大刀複製・石製紡錘車複製（前橋天神山古墳） 石田川式土器台付甕（藤岡市本郷）
	毛野の発展	太田天神山古墳模型、家形埴輪複製（赤堀茶臼山古墳）

上毛野の成立	豪族の墓	獣帯鏡複製・銅水瓶複製（綿貫観音山古墳）、 綿貫観音山古墳墳丘模型
	古墳文化のひろまり	土師器杯・土師器椀・土製丸玉（東吹上遺跡）、カマド復元模型 銅鏡複製・内行花文鏡複製・圭頭大刀複製（八幡観音塚古墳）
はにわの世界	祭祀と生活の造形	埴輪裸馬（群馬県内）、埴輪盛装の男子（藤岡市三本木） 埴輪犬複製・埴輪猪複製（剛志天神山古墳）
古墳の終末	古墳文化から 仏教文化へ	山上古墳と山上碑模型、山上碑複製、蕨手刀（かもん塚古墳） 蕨手刀・青銅製巡方・青銅製丸柄・刀子（上原古墳）
律令制と上野国	国と郡郷	多胡碑複製、上野国交替実録帳郡官舎項複製、鈎帯複製（多賀城跡） 上野国印（推定復元）、刀子複製（奈良平城宮跡）
仏教文化と信仰	地方の寺院	石製鷲尾複製・軒丸瓦・文字瓦「放光寺」複製（山王廃寺）
	国分寺の建設	上野国交替実録帳国分寺項複製、軒丸瓦・軒平瓦（上野国分寺跡）
	仏教のひろまり	金井沢碑複製、山上多重塔複製
生産活動の展開	工人のむら	3号製鉄炉複製（菅ノ沢遺跡）

第3展示室 一中世一

(導入展示)		新田義重讃状（長楽寺文書）[複製]
東国武士のふるさと	武士団の活躍	不動寺石造不動明王立像[複製]、俵藤太物語絵巻（3巻本）、太平記絵巻[複製]、新田義貞畠在家売券案・関東下知状・新田義貞寺務職補任状・上野国宣(以上、長楽寺文書)[複製]、足利直義軍勢催促状（色部文書）、足利尊氏御判御教書（赤堀文書）
戦国の争乱	室町・戦国期の 上野国	朱漆塗碁石頭伊予札緋威二枚胴具足・桃形兜付、伊予鉄鉄板黒漆塗紺糸威最上胴具足・鉄黒威塗六十二間筋兜「上州住成国作」付、松陰私語[複製]、関東幕注文(上杉文書)[複製]、上杉光哲（憲政）書状・上杉輝虎書状（赤城神社文書）、金山城[模型]
山の信仰と 中世の仏教文化	中世の神と仏	長光寺虚空蔵菩薩懸仏、榛名神社御正体[複製]、貫前神社奉納鏡[複製]、長楽寺普光庵出土古瀬戸蔵骨器、銅製経筒、善勝寺鉄造阿弥陀如来坐像[複製]、蓮華寺栄朝禅師椅像[複製]、仁治の碑[複製]、三光院十一面観音菩薩立像[複製]
中世庶民の暮らし	人々の暮らしと 産業・交易	日向見薬師堂[模型]、小侍従書状(彦部文書)[複製]、長楽寺永祿日記[複製]、出土渡来銭

第4展示室 一近世一

(導入展示)		上州群馬郡高崎領河原嶋村検地帳
江戸幕府と上野諸藩	上野国の政治	上野国輿地全図、土岐家沼田藩邸[復元模型]、伝酒井忠清坐像 旧前橋藩邸使用瓦、松平（大河内）輝貞坐像
近世の村落	封建支配の村	五人組帳、山田郡上小林村宗門人別帳
	農業の発達	力田遺愛碑[複製]、老農夜話[パネル]、千歯抜き
上野国の産業と文化	蚕糸・織物業の発達	蚕棚、桑切包丁、座繰り、いざり機
	交通の発達	碓氷関所東門[模型]、中山道分間延絵図[複製]、矢立、火打袋
	郷土文化の発達	上三原田歌舞伎舞台[模型]、甘雨亭叢書、渋川往来、蚕養育手鑑
封建社会の崩壊	災害と飢饉	間引き絵馬[複製]、浅間嶽大焼之図、浅間大焼泥流利根川流下図
	幕末の混乱	農兵用陣笠、農兵用足袋、大河内輝聲御判書

第5展示室 ー近現代ー

(導入展示)		工女勉強之図
近代国家の成立	廃藩置県	境界標柱、解説パネル (群馬県誕生まで)
	地租改正	解説パネル
	立憲政治と地方自治	解説パネル
	楫取素彦	解説パネル
産業の発達	官営工場の設立	富岡製糸場模型、富岡製糸場の繰糸機模型、工女手紙、煉瓦など
	蚕糸・織物業	解説パネル、安中実業高校使用の揚返機など
近代社会の発展	教育の発達	解説パネル
	郷土の先覚者	解説パネル
	議会政治の発展	解説パネル
戦争への時代	戦争と県民生活	千人針、衣料切符、前橋空襲パノラマ、焼夷弾の模型、など
戦後の社会	戦後の混乱・ たちなおる群馬	上毛かるた (昭和 22 年版、43 年版)、群馬交響楽団パンフレット、 楽器
	ぐんまの鉄道	県内鉄道の DVD、両毛鉄道上越線、上信・上毛電鉄、草軽電鉄など の駅名枝、株券など
	ものづくり群馬	スバル360、ラビットスクーター、中島知久平と中島飛行機、戦闘機 模型、林内作業車デルピス号

ビデオコーナー

群馬の民俗 ー生業ー	蚕と生糸、縁起だるま、メンパづくり、東毛の漁法、麦と上州、伊勢崎餅
群馬県歌	上野唱歌、上毛の歌、上州小唄、群馬県歌、復興群馬の歌、群馬県の歌、群馬県の歌

(2) コレクション展示

「考古・歴史・美術工芸・民俗コレクション」

(ア) 期間 平成26年4月19日(土)～9月28日(日) 開催日数 140日間

(イ) 趣旨

これまで歴史博物館は群馬県域を中心として、寄贈・購入・移管等により多くの資料を収集してきており、その数は約10万点にも及んでいる。この中には常設展示としてあまり活用されていないものもあるため、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門から資料的価値の高いものを選んで展示し、観覧者に郷土の歴史と文化への関心を深めてもらうとともに、博物館活動の重要な部分である資料収集活動について理解を促す目的で開催した。

大型連休や夏休み期間中における子どもから大人までの幅広い世代を対象として展示活動を行った。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 展示構成と主な展示資料

(1) 考古

縄文土器小型鉢(桐生市千網谷戸遺跡 縄文晩期)
上野国関係木簡(レプリカ)(飛鳥～奈良時代)

(2) 歴史

紺紙金泥写経(正徳四年)
上信電鉄沿線案内(昭和初期)

(3) 美術工芸

上杉輝虎書状(永禄七年)

(4) 民俗

村松山真弓馬(茨城)

(オ) 資料点数 100件 100点

(カ) 入館状況 期間中の総観覧者数 23,091名 一日平均 165名

(3) 出張展示

「群馬の歴史・文化の魅力をご紹介！パート3」

(ア) 期間 平成27年1月14日(火)～平成27年2月19日(木)

(イ) 趣旨

歴史博物館が所蔵している複製品などを中心に展示して、群馬県の各時代の特徴を紹介して、群馬の観光に役立てるとともに、当館への誘客を図る。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 県庁31階観光物産展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

原始 縄文土器深鉢・弥生土器壺など
古代 藤原京・平城京出土木簡(複製)
中世 鉄仏・懸仏など(複製)など
近世 中山道分間延絵図(複製)など
近・現代 楫取素彦書状(複製)など

(カ) 展示資料点数 30点

(4) 藤岡歴史館・群馬県立歴史博物館共催展示 「高山社～高山家資料を中心として～」

(ア) 期間 平成26年7月26日(土)～9月15日(月・祝)

(イ) 趣旨

世界遺産登録となった「高山社」に関して、高山長五郎の功績と「養蚕改良高山社」の設立と発展、廃校に至るまでを、主に高山家資料を通してわかりやすく展示する。

(ウ) 主催 藤岡歴史館

(エ) 共催 群馬県立歴史博物館

(オ) 会場 藤岡歴史館

(カ) 展示構成と主な展示物

高山社とは 高山社鬼瓦・高山家宅地建物配置図など

高山長五郎の紹介 高山分教場絹絵図など

高山長五郎と養蚕 「甲種高山社養蚕業学校給葉書」拡大パネルなど

養蚕改良高山社の設立 養蚕乃心得十条(明治11年4月)・養蚕改良高山社設立願など

養蚕とは 蚕種催青器(手塚式)・掃立て羽根など

高山社の変遷と発展 「養蚕改良高山社規則」など

蚕室再現展示 給桑カゴなど

世界遺産登録富岡製糸場と絹産業遺産群 パネル展示

(キ) 展示資料点数(当館保有分のみ) 15点

2 教育普及

(1) 広報活動

ア 企画展ポスター・ちらし配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ 博物館だより・歴史博物館カレンダー配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

ウ 県広報課関係広報

ぐんまちゃんの掲示板、ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング等

エ 県内報道機関へのPR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、群馬東部よみうり、日本放送協会前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎（出演）等

オ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

カ 企画展図録配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内図書館等

キ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

ク 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページにPDFファイルで掲載

ケ 学校団体利用促進広報

県内小・中・養護・高等学校、県内各市町村教育委員会、県外（埼玉、東京、神奈川等）小学校への利用案内の配布、近隣幼稚園、保育園、保育所への「お出かけ体験」利用促進ちらしの配布

コ ホームページの充実

企画展の資料一覧や資料画像など、掲載情報の充実
イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載
博物館だよりを当館ホームページにPDFファイルで掲載
博物館の今を伝える「博物館日記」の更新
Facebook ページの更新

サ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示、来園者へのチラシ配布
わくわくクラブカードの発行によるリピーターの獲得

シ 各種イベントへの参加

民間商業施設での出張わくわく体験（かざぐるま・はにわバイザー）の実施
県庁、東国文化にかかわる展示イベントへの参加

(2) 講座等

種類	演題等	講師	期日	会場等	参加数	小計
歴史博物館講座	① 古代上野国ゆかりの木簡を読む	小池 浩平 (学芸係長)	6.28	視聴覚室	77	490人
	② 沼田藩の武器・武具について	小野瀬和雄 (次長)	7.12	〃	75	
	③ 縄文から弥生へ	新井 仁 (主幹)	7.26	〃	85	
	④ 近世上州の地域性について － 交通史を中心に －	中山 剛志 (主任)	8.2	〃	79	
	⑤ 戦国のでっけえ城、 ちっちええ城	築瀬 大輔 (主幹)	8.16	〃	123	
	⑥ 鳥の視点で眺めた群馬 ～鳥瞰図で見る大正・昭和の群馬～	江原 岳志 (主任)	9.6	〃	51	
歴史推理	① 武田信玄の国家構想と新鎌倉	黒田日出男 名誉館長	7.5	視聴覚室	133	560人
	② 徳川水軍と向井将監	〃	8.23	〃	128	
	③ 出光本「江戸名所図屏風」 の謎を解く	〃	9.27	〃	131	
	④ 信玄と家康	〃	3.7	県庁 281会議室	168	
団塊の世代向け講座	① 古文書講座Ⅰ①	黒田日出男 名誉館長	4.26	歴博会議室	28	174人
	② 古文書講座Ⅰ②	〃	5.31	〃	25	
	③ 古文書講座Ⅰ③	〃	6.21	〃	24	
	④ 古文書講座Ⅱ①	〃	11.14	児相会議室	26	
	② 古文書講座Ⅱ②	〃	12.12	〃	23	
	③ 古文書講座Ⅱ③	〃	1.9	〃	25	
	④ 古文書講座Ⅱ④	〃	2.13	〃	23	
	計					

(3) 学校教育との連携

「生きる力」「確かな学力」育成を目指す学校に対して、教育機関としての博物館がどのように支援できるかという観点から、次のとおり事業を実施し学校教育との連携強化に努めた。

ア 火おこし体験などの学校向け体験学習の充実

舞ギリ、火打ち、キリモミの3つの発火法による火おこし、石臼を用いた米の粉ひき等の体験学習を実施した。

イ 子ども向け解説「歴史探検」の実施

学校団体で利用する小学6年生を対象に、常設展示「目で見える群馬の歴史」を楽しく見学できるよう「土器」「古墳」の二つのコースを設定し、解説員がわかりやすく説明した。

ウ 臨時休館日の学校団体受け入れ

展示替え等の臨時休館日には、学校団体のみ受け入れ、火おこし体験や歴史探検、展示見学を利用できるようにした。

エ 職場体験の生徒受け入れ

資料整理実習、体験学習補助、発送作業、監視、受付等の業務体験の機会を提供した。

オ 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校および県外小学校に、学校向け利用案内リーフレットを配布した。

カ ワークシート「なんだろう」の活用

小学校低学年向けワークシート「なんだろう」の内容を定期的に入れ替え、子どもが休日を有意義に過ごせるように支援した。

キ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の学校向けプログラム「アートツアー」と、当館の火おこし体験、歴史探検の実施時間とコマ割りを統一し、ローテーションを組んで両館を利用できるようにした。

ク 小学校への指導者派遣「歴史デリバリー教室」

高学年向け、中学年向け、低学年向けの歴史を学べるプログラムを用意し、体験学習を通して社会科および生活科や総合的な学習の支援となるよう指導者を派遣した。また、今年度は中学年向けの新メニューとして、様々な道具を触りながら調べたり石臼や火打ち等の体験ができたりする「ちょっと昔の道具」デリバリーを実施した。

内容	対象	概要
浮世絵多色刷り	6年	歌川広重と中山道について学習し、多色刷りを体験する。
まが玉	6年	簡単に加工できる石を使って、まが玉作りを体験する。
縄文編み	6年	古代人の布編みの技法（アングン）を体験する。
火おこし	5,6年	舞ギリ式・キリモミ式の火おこしを体験する。
ちょっと昔の道具	3,4年	ちょっと昔の道具について調べ学習と体験活動を行う。
かご編み	3,4年	かご編み体験を通して昔の技法について関心を高める。
ミニ凧	1,2年	ミニ凧作りを通して昔の遊びについて関心を高める。

ケ 幼稚園・保育園・保育所への指導者派遣「お出かけ体験」

幼児の体験活動を支援するため、かざぐるま作り体験やミニ凧作り体験、万華鏡作り体験の指導者を派遣した。

(4) 体験学習

ア 体験学習の目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・企画展等の展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験学習の形態と実施場所

- ①個人の来館者に対応した体験（わくわく体験等）……学習室（体験学習コーナー）
- ②学校、社会教育団体等に対応した体験……中庭、学習室（体験学習コーナー）
- ③学校団体等に対応した出前体験（歴史デリバリー教室等）……各学校、幼稚園・保育園等

ウ 体験学習の内容と体験者数(平成26年度)

- ①個人の来館者に対応（個人向け体験学習メニュー）

【わくわく体験】 土・日・祝日及び学校の長期休業日 午後1時～3時30分

体 験 名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
かざぐるま（前期） 4/19～5/6	カラフルな色紙でかざぐるまを作り、回して楽しむことで、伝統的な玩具への関心を高める。	〔9日間〕 3,076人
れきはくスタンプ封筒 5/10～6/1	通常展示にかかわるスタンプを押して、オリジナルの封筒を作ることで、展示資料への関心を高める。	〔8日間〕 1,052人
昔のおもちゃ（ひっくりカエル） 6/7～6/29	厚紙と輪ゴムを使って跳びあがるカエルを作ること で、昔ながらのおもちゃや技法に慣れ親しむ。	〔8日間〕 687人
くるくる七夕かざり 7/5～7/13	紋切りの技法で星形を切り抜き、くるくる回る七夕 かざりを作ることで、伝統行事への関心を高める。	〔4日間〕 354人
夏休みわくわく工房 7/19～8/24	3種類の歴史体験や工作を一定期間ごとのメニュー で実施し、夏休みの課題へのヒントを提供する。	〔33日間〕 2,645人
ミニまが玉 8/2～8/17	4cm×3cm×1cmの滑石を削り、磨いてミニまが 玉を作ることで、古代人の技術や願いに触れる。	〔15日間〕 737人
展示室内体験 8/2～8/17	土器（立体）や埴輪のパズルの組み立てと浮世絵の多 色刷り体験を行い、ゲーム感覚で歴史に親しむ。	〔15日間〕 1,340人
石臼ひき体験 8/30～9/28	石臼での粉ひきを体験することで、昔の生活の苦労 や工夫、粉物食材に対する興味・関心を高める。	〔12日間〕 946人

【わくわく体験スペシャル】 1ヶ月に1回程度 日曜日 午前10時～12時

かご編み、和綴じ本、七夕飾り、 はにわ作り、いろいろ火おこし	人数限定（親子12組等）で実施する体験学習で、通 常のわくわく体験よりも製作に時間のかかるものや 高度な技術を要する体験を実施。	〔6日間〕 116人
個人対象体験学習 実施人数合計		10,953人

②学校、社会教育団体に対応（学校団体向け体験学習メニュー：申し込みに応じて随時実施）

体 験 名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
火おこし体験	火打ち・舞hiri・きりもみの発火体験を通して、生活の工夫や変化に対する興味・関心を高める。	96 校 7,375 人
石臼ひき体験	石臼での粉ひきを体験することで、昔の生活の苦労や工夫、粉物食材に対する興味・関心を高める。	2 校 52 人
ミニ凧作り	ミニ凧を作って揚げることを通し、日本の伝統的な遊びである凧に親しみ凧あげの楽しさを体感する。	1 校 10 人
その他（かご編み等）	（個人向け体験学習メニューを希望する学校団体に随時対応してきた。）	1 校 64 人
社会教育団体対応 ※総合福祉センターへの出張講座(浮世絵)を含む	個人向け体験学習メニューを希望する社会教育団体に随時対応。簡易工作等を通して、歴史や昔の生活・遊びに親しむ。（かざぐるま、ミニかごなど）	8 団体 239 人

③学校団体等に対応した出前体験（歴史デリバリー教室、お出かけ体験）

歴史デリバリー教室（小学校） 通年(昔の道具は 1/8 ～ 3/6)	小学校で実施したメニュー 浮世絵多色刷り、火おこし、まが玉、縄文編み、かご編み、ミニ凧、ちよつと昔の道具(今年度より)	小学校 55 校 3,899 人
お出かけ体験（幼稚園・保育園） 11/4 ～ 12/19	幼稚園・保育園で実施したメニュー ミニ凧・かざぐるま・万華鏡作り 以上の内容で当館職員を講師として学校等に派遣し昔の生活や技術、遊びへの関心を高め理解を深める。	幼稚園 保育園 72 園 1,979 人
団体対象体験学習 実施人数合計（②+③）		235 団体 13,618 人

④東国文化等に対応した出前親子向け体験

出張わくわく体験	出張要請があった施設等に出かけ、かざぐるま等の親子向け体験を行い、博物館への理解を深める。	計 2 回 141 人
----------	---	----------------

エ 平成26年度の体験者総数

個人	(大人) 4,708 人 (子ども) 6,386 人	団体	(大人) 1,351 人 (子ども) 12,267 人	合計	24,712 人
----	----------------------------	----	-----------------------------	----	----------

オ 指導者

職員の外、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施している。

(5) ボランティア

歴史博物館ボランティアとして、次の活動に従事している。

- ・体験学習の学習者に対する指導・助言及び準備

ア 概要

登録ボランティアは土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人が多い。

年代別に見ると、60代以上が全体の半数を占めており、着実に高齢化が進んでいる。また、10～20代の登録者も3割程いるが、学生のため活動できる日は限られている。50・60代の女性は、子育てが一段落し、仕事に従事していない専業主婦が多く、60代以上の人は退職後にボランティア活動を始めている。いずれも社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動を始めた人が多く、土・日曜日だけでなく平日も活動している。

ボランティアの居住地域は、当館から1時間以内の市町村（高崎市・前橋市・藤岡市・伊勢崎市）が多いが、中には東毛地区や埼玉県から長時間かけて来館するボランティアもいる。

今年度も、学校の夏休み中に活動する学生ボランティアを募集した。高校生43名が、親子向け体験学習「わくわく工房」と展示室内の体験（はにわパズル、浮世絵版画）コーナー、中庭での「まが玉体験」における指導補助に従事した。

イ 年間の活動人数（「体験学習」） のべ373人（4月～9月）

ウ 研修会の実施

体験学習の指導を円滑に進めるため、体験学習の内容が変わるたびに研修会を実施している。

また、ボランティアの資質向上を図るために他の社会教育施設等の見学会や研修会を実施している。

4月22日（火）第1回研修会〔26年度の活動説明、体験学習事前研修〕

7月11日（金）第2回研修会〔夏休み体験学習事前研修〕

9月27日（土）第3回研修会〔感謝状贈呈式、名誉館長講演〕

※学生ボランティア実技研修会（夏休み） 7月30日（水）

エ その他

- ・体験学習ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・体験学習ボランティアへの連絡のため、毎月『歴博ボランティアだより』を発行している。
- ・4年以上経過し60日以上活動したボランティアに対して感謝状を贈呈する。（平成26年9月）
（今年度対象者2名）

(6) 刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	紀要第36号	A4 73頁	1,100
パンフ	博物館だより第133号～135号 平成26年度学校向け利用案内パンフレット	A3二つ折り A3二つ折り	各4,000 3,000
ちらし	火おこし解説ちらし	A4二つ折り	10,000
	火おこし体験証	B6	10,000

(7) 展示解説

解説実施回数

	常設解説		企画解説		昨年度常設・企画解説		ガイダンス				質問解説	歴史探検				七不思議	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	今年度	昨年度	今年度	昨年度		件数	土器コース		古墳コース		件数
							件数	人数	件数	人数	件数		人数	件数	人数		
4月	1	23	0	0	1	23	2	5	56	199	33	1	11	3	88	0	0
5月	2	42	0	0	0	0	40	45	3,158	3,242	46	0	0	55	1,911	1	5
6月	3	62	0	0	2	61	39	42	2,946	3,122	34	5	200	47	1,682	1	2
7月	1	28	0	0	3	58	34	25	2,091	2,020	21	0	0	27	929	11	83
8月	6	28	0	0	7	85	13	19	613	919	31	0	0	5	186	31	266
9月	3	27	0	0	3	42	10	12	594	920	24	0	0	10	337	0	0
10月			0	0													
11月			0	0													
12月			0	0													
1月			0	0													
2月			0	0													
3月			0	0													
合計	16	210	0	0	16	269	138	148	9,458	10,422	189	6	211	147	5,133	44	356

* 常設解説は、常設展示について行う解説。

* 企画解説は、企画展示について行う解説。

* ガイダンスは、団体に対する博物館案内。

* 質問解説は、各展示室に配置された解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの。

* 歴史探検は、小学校6年生に対して行う歴史の調べ学習。

* 七不思議は、夏休み中、子ども向けに行われるお話会。

* 10月～3月は、改修工事のため休館。

3 調査・研究

(1) 資料調査

ア 趣旨

郷土群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「平成26年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館の調査研究及び展示等に必要な資料の発見や調査を行い、博物館の資料とする。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。

委嘱の期間は、平成25年6月1日から平成26年3月31日までとする。

イ 調査内容

No.	部門	調査テーマ	調査内容	調査員	担当職員
1	考古	寄託考古資料の基礎調査	①鶴山古墳出土鉄製品の整理作業 前年度整理した資料のうち未整理の鉄製品の点検・整理作業を行う。 ②寄託考古資料の基礎調査 搬出に関わり寄託考古資料の点検・整理、木箱への収納作業を行う。さらに点検・確認を要する資料があり、返却・収納後の確認が必要である。 ③未整理写真・図面類の分類・整理作業 ロッカー等に収納する未整理の写真・図面類の点検・整理作業を行ったが、資料の搬出により中断した。	平野進一	新井 仁
2	歴史	和算関係資料の調査・研究	①以下のように分類・整理し紀要掲載に向けて目録の備考欄を一つにまとめて必要情報のスリム化を図る。 1.和算：798冊 2.天文・暦学：122冊 3.測量：29冊 4.易：9冊 5.理科 20冊 6.建築：4冊 7.度量衡：2冊 8.その他：14冊 9.現代復刻版：44冊 計 1042冊 ②「1.和算」内の『1-0002 塵劫記』は調査により年代の特定ができた。 ③「1.和算」内の『1-0415 堤堀普請人足□□の事』は元禄 16 (1703) 年と銘記されており、現段階で県内最古の数学写本である。全 37 丁の翻刻が終わり、文中に図を挿入中である。	小林龍彦	中山剛志

3	歴史	地図と映像を利用した歴史学習プログラム（中世）の開発	<p>①新田義貞関係資料一覧の作成 元弘3年（1333）挙兵～暦応元年（1338）滅亡を中心に関係資料の一覧表を作成した。特に視覚的に有用な『太平記絵巻（原本）』および発給文書についてリストアップを行う。</p> <p>②調査カードの作成 ①をもとに、調査カードを作成する。</p> <p>③テーマの検討および資料の選定 展示テーマを踏まえ、本資料の視点やテーマ設定について検討を行う。また、新田義貞の動きを、足利尊氏の動きと関連させながら、地図上に落とす際にふさわしい事件等の関連資料の選定を行う。</p> <p>④地図と画像を用いた資料の作成 Illustrator を用い、地図上に義貞および尊氏の動き、画像を配置する。 現行の展示パネルで示した、挙兵から滅亡までの新田義貞の動きに、守護任国の位置とライバルであった足利尊氏の動きを加え、義貞の行動経路がどのように規定されたのかを地図上で示す。わずか5年の間に日本列島を縦横無尽に活躍した、当時の中世武士の姿を、義貞と尊氏の動きから提示する。</p>	青木裕美	築瀬大輔
4	民俗	伝承資料「民話」の基礎調査・整理	<p>民話データの入力 一覧表に基づいて、個々の民話データの入力を行う。昨年度に引き続き、利根郡みなかみ町藤原の雲越けささんから聞き取りをした民話をデータ入力する。「姨捨て山」「サルとカニ」「カチカチ山」「鉄砲打ちと鬼婆」「シッテン沢のショウザブロウ」「猿婿」まで入力。</p>	萩原京子	神宮善彦

ウ 資料調査員会議

(ア) 第1回資料調査員会議

日時 平成26年6月19日（木） 午後2時～
会場 群馬県立歴史博物館会議室
議題 委嘱状交付、調査実施方法、調査計画の検討、その他

(イ) 第2回資料調査員会議

日時 平成26年11月27日（木） 午後2時～
会場 西部児童相談所第1会議室
議題 資料調査成果についての報告及び質疑応答、その他

(2) 外部検討委員会

ア 趣旨

昨年度策定した展示設計書に基づき、本年度 12 月から開始する展示製作を進めるにあたって、展示資料の選定や模型・映像・グラフィック等の作成などの具体的な展示内容について、専門家による適切な指導や助言を受けるべく外部検討委員会を実施する。なお、この委員会は展示製作スケジュールに併せて次年度も継続して実施する。

イ 委員

右島 和夫（群馬大学講師）
若狭 徹（高崎市教育委員会文化財保護課課長補佐）
大工原 豊（國學院大学講師）
前澤 和之（館林市役所市史編さんセンター専門委員）
深澤 敦仁（群馬県教育委員会文化財保護課指導主事）
齋藤 慎一（東京都江戸東京博物館主任）
飯森 康広（群馬県教育委員会文化財保護課主幹）
岡田 昭二（群馬県立文書館主幹専門員）
古澤 勝幸（群馬県企画部世界遺産課次長）
吉良 芳恵（日本女子大学教授）
大島登志彦（高崎経済大学教授）

ウ 委員会の開催

全体検討会を 2 回、時代ごとの個別検討会を 4 回実施した。

(ア) 全体検討会

第 1 回全体検討会

日時 平成 26 年 11 月 18 日（火）

会場 西部児童相談所 3 階 第 1 会議室

議題 改修工事について、外部検討委員会の趣旨及び経過報告、展示実施設計の報告、今年度の活動計画及び個別検討会について

第 2 回全体検討会

日時 平成 27 年 3 月 17 日（火）

会場 西部児童相談所 3 階 第 1 会議室

議題 展示項目及び展示資料について

(イ) 原始個別検討会

第 1 回個別検討会

日時 平成 26 年 12 月 7 日（水）

会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室

議題 展示項目の見直し及び展示資料の検討

第 2 回個別検討会

日時 平成 27 年 1 月 15 日（木）

会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室

議題 展示資料及び模型の検討

第 3 回個別検討会

日時 平成 27 年 2 月 16 日 (月)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室
議題 展示資料、模型及び映像・グラフィックの検討

第 4 回個別検討会

日時 平成 27 年 3 月 5 日 (木)
会場 高崎市教育委員会文化財保護課内会議室
議題 展示項目、展示資料及び模型の検討

(ウ) 東国古墳文化展示室及び古代個別検討会

第 1 回個別検討会

日時 平成 26 年 12 月 25 日 (木)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室
議題 展示項目及び展示資料の検討

第 2 回個別検討会

日時 平成 27 年 1 月 22 日 (木)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室
議題 上野野氏研究と通史展示

第 3 回個別検討会

日時 平成 27 年 2 月 19 日 (木)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室
議題 東国古墳文化展示室における展示企画、上野野氏関係記事とその評価

第 4 回個別検討会

日時 平成 27 年 3 月 5 日 (木)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室
議題 展示項目、展示資料及び展示レイアウトについて

(エ) 中世個別検討会

第 1 回個別検討会

日時 平成 26 年 12 月 22 日 (月)
会場 神保植松遺跡及び西部児童相談所 3 階第 2 会議室
議題 神保植松遺跡の資料化 (模型製作) 及び展示構成について

第 2 回個別検討会

日時 平成 27 年 1 月 22 日 (木)
会場 西部児童相談所 3 階第 2 会議室及び群馬県埋蔵文化財センター
議題 展示資料の選定、ハンズオンについて、神保植松遺跡の遺物調査

第 3 回個別検討会

日時 平成 27 年 2 月 27 日 (木)
会場 群馬県文化財保護課遺物保管庫
議題 展示資料の選定、ハンズオンについて、神保植松遺跡の遺物調査

第 4 回個別検討会

日時 平成 27 年 3 月 30 日 (月)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室
議題 神保植松遺跡に関する調査報告

(オ) 近世個別検討会

第 1 回個別検討会

日時 平成 26 年 12 月 12 日 (金)
会場 西部児童相談所 3 階 第 2 会議室

議題 展示項目、展示資料、ハンズオン及び倉賀野河岸について
第2回個別検討会

日時 平成27年1月16日(金)

会場 西部児童相談所3階 第2会議室

議題 展示項目、展示資料、ハンズオン及び倉賀野河岸について
第3回個別検討会

日時 平成27年2月4日(水)

会場 西部児童相談所3階 第2会議室

議題 展示資料の選定及び倉賀野河岸について

第4回個別検討会

日時 平成27年3月3日(火)

会場 西部児童相談所3階 第2会議室

議題 展示資料の選定、ハンズオン及び倉賀野河岸について

(カ) 近現代個別検討会

第1回個別検討会

日時 平成26年12月19日(金)

会場 西部児童相談所3階 第2会議室

議題 展示項目及び展示資料の検討

第2回個別検討会

日時 平成27年1月26日(月)

会場 西部児童相談所3階 第2会議室

議題 展示項目及び展示資料の検討

第3回個別検討会

日時 平成27年2月20日(金)

会場 西部児童相談所3階 第2会議室

議題 展示項目、展示資料及び映像資料の検討

第4回個別検討会

日時 平成27年3月14日(土)

会場 横浜開港資料館

議題 展示項目及び展示資料の検討

(3) 調査研究

博物館活動及び館職員の資質向上に資するために今年度の調査研究計画を決定し、実施したものである。

平成26年度 調査研究テーマ一覧

No.	氏名	テーマ	部門	成果発表方法等
1	築瀬 大輔	城館跡から見た中世上野の地域性	歴史	新常設展示
2	築瀬 大輔	中世移行期社会における地侍の研究	歴史	学術誌等
3	中山 剛志	近世展示室の在り方について	歴史	新常設展示

(4) 各調査研究部門

ア 考古部門

研究室の構成は、小池係長・新井主幹の2名である。

「歴史博物館講座」で小池係長が「古代上野国ゆかりの木簡を読む」と題し、新井主幹が「縄文から弥生へ」と題して発表した。いずれもコレクション展示の考古部門に関連する内容で、PR展示「群馬の歴史・文化の魅力をご紹介！」にも反映されている。

イ 歴史部門

研究室の構成は中山主任、江原主任の2名である。

博物館講座では、中山主任が「近世上州の地域性について－交通史を中心に－」、江原主任が「鳥の視点で眺めた群馬－鳥瞰図で見る大正・昭和の群馬－」と題して発表した。

資料調査では、中山主任が「和算関係資料の整理」として小林龍彦資料調査員とともに受贈資料「飯塚正文文庫」の目録を作成して研究紀要第36号に掲載するとともに、重要資料を中心に資料調査を実施して改修後に企画展やテーマ展示が開催できるよう準備を進めた。

展示については中山主任が「近世展示室の在り方について」と題して調査研究を実施し、改修後の展示制作へ反映させている。

ウ 民俗部門

民俗部門は、今年度も神宮学芸員1名の構成により、調査研究活動が実施された。

また、萩原資料調査員により昭和60年前後に利根郡において採集された民話のテープ起こし及び聞き取り調査資料の記録・保存・照合を行った。

エ 美術工芸部門

築瀬主幹が、調査研究、資料収集・管理、展示・講演業務等を担当した。

調査研究として、「城館跡からみた中世上野の地域性」、「中近世移行期社会における地侍の研究」を実施した。

(5) 紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第36号』を刊行した。A4判104頁
内容は、以下のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第36号』執筆稿一覧

No.	執筆者	表題	種別		
①	新井 仁	群馬県における原始・古代の穀類生産について	和文横書	18	論文
②	中山 剛志 小林 龍彦	「飯塚正明文庫」目録－資料群の調査報告書とその特徴－	和文横書	34	論文報告
③	江原 岳志 菊池 実	陸軍岩鼻火薬製造所解体時の様相と今後の検討課題	和文横書	18	論文
④	新井 仁 梅澤 重昭 井上 慎也 浅間 陽 井上 太	安中市上人見遺跡弥生墓群について(1)(仮題)	和文横書	22	報告
⑤	築瀬 大輔	古文書展示における補助資料の効果的活用－地域協働展「サムライたちのメール」から－	和文横書	12	報告

計104頁

4 資料の収集・整理

(1) 資料整理

ア 考古部門

寄託資料であった「倉渕村権田出土土器」が寄贈となり、考古資料の充実を図ることができた。

資料調査員の平野進一氏が寄託考古資料の整理を行った。鶴山古墳出土鉄製品の整理作業、寄託考古資料の基礎調査、未整理写真・図面類の分類・整理作業を行った。

イ 歴史部門

購入資料では、「木戸家文書 慶応元年 10 月 5 日楫取素彦書状（複製品）」を、寄贈資料では「船津伝次平の日記」や「飯塚正文庫」など、合計 8 件 1301 点を新たに収蔵した。また、「飯塚正文庫」の目録を研究紀要第 36 号に掲載するとともに、収蔵資料のデータベース化作業も継続的に行った。

ウ 民俗部門

改修工事着工に先立ち、収蔵庫内の資料を館外保管施設に移転した。

エ 美術工芸部門

改修工事着工に先だって、収蔵庫内のすべての資料を館外保管施設に移転した。

(2) 保存管理

資料整理及び管理は各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理とデータロガーによる）、記録の供覧
- ・資料移動先の収蔵施設の巡視・点検、温湿度調整・記録（機械自動管理とデータロガーによる）、記録の供覧
- ・虫菌害防止対策として、収蔵庫・展示環境の測定（飛来虫などを館職員で捕獲し記録）や清掃、整理整頓等の日常管理及び、資料移動先の収蔵施設の巡視・点検・環境調査
- ・資料燻蒸（改修工事に伴う館内収蔵資料の移転に際し、梱包資材を含めた資料の燻蒸を行った）
- ・加湿器・除湿器の設置

イ 資料の修復及び保存修理

刀剣資料80振りと鉄砲資料80挺の手入れを各1回実施した。

ウ 資料保存研修会

資料保存研修会（第一期）を実施要領に基づき実施した。参加者は35名であった。

資料保存研修会（第一期）実施要項

群馬県立歴史博物館

1. 趣旨

本館では、重要文化財の毀損事故及び公開承認施設の取り消しを受けて、施設・設備全体の改修工事を進めるとともに、博物館資料の保存に関する取り組みを積極的に推進して、本県における資料や文化財の保存活動で中心的な役割を果たしていく責務がある。

そこで、本県の博物館・美術館・資料館の学芸員、及び市町村文化財担当者向けに、資料や文化財の保存に関する様々な情報提供を行い、資料や文化財に対する安全で適切な管理への取り組みをサポートしていくために、「資料保存研修会」実施する。

なお本研修会は、群馬県教育委員会文化財保護課と群馬県博物館連絡協議会の後援を受けるとともに、参加者からの意見や要望、本館における取組内容を取り入れながら、3ヶ年計画でプログラムを実施して、参加者が資料の保存に関する総合的な知識を得るとともに、その内容を広く活用してもらうことをめざしている。

第一期は、平成26～28年度の3ヶ年度として、最終年度に研修会の内容を報告書としてとりまとめ、県内の関係機関等に配布する。

2. 主催

群馬県立歴史博物館

3. 後援

群馬県教育委員会（文化財保護課）・群馬県博物館連絡協議会

4. 内容

本館の資料保存への取り組みをベースとし、近年課題となっている資料の保存に関する情報を中心にプログラムを策定する。構成は、外部講師（研究所・博物館・文化財部局・民間機関等の職員）による2つのテーマに関する講義・実習と、本館職員による事例報告の3本立てとする。

各年度のプログラムは以下のとおりである。

【平成26年度】

テーマ1「生物被害への対策」

生物被害対策として、IPM（総合的有害生物管理）が進められている。その概要を紹介するとともに、施設としての弱点を把握し、予防する（点検・調査）中で、必要な文化財害虫の同定、さらには、殺虫・殺菌のための文化財燻蒸の概要と二酸化炭素殺虫処理のデモを行う。

事例報告

「施設・設備の改修」
重要文化財の毀損事故により、公開承認施設の取り消しを受けた本館の施設・設備の問題点を、改修工事に向けた取り組みを通して報告する。

テーマ2「ミュージアムIT」

文化財や資料の保存にとって、データベースはその前提となるものである。事例にもとづく最新のミュージアムITを紹介し、実際のデータベースシステムを体験することで、館内の業務管理機能とインターネット公開機能を充実させるための取り組みについて考える機会とする。

【平成 27 年度】

テーマ1「光・照明対策とLED」

展示照明は資料を「見（魅・観）せる」ために欠かせないものであるが、資料の劣化の原因となっている。博物館では、白熱灯や蛍光灯による照明が主流となっているが、紫外線や赤外線の問題や水銀の輸出規制などにより、今後はLED照明へ移行することが想定されている。現状での博物館のLED導入事例を紹介しながら、LEDの特色や導入あたりの留意点を考える。

事例報告「資料管理要綱」

本館では毀損事故後に、資料管理における専用マニュアルとして「資料管理要綱」を定めた。その概要を紹介するとともに、本館における防災対応についても併せて報告する。

テーマ2「災害・事故対策」

東日本大震災以来、防災への意識が高まり、災害（地震・火災・水害等）への対応や文化財レスキューへの取り組みが大きな課題となっている。また、近年文化財の盗難事件も多発しており、文化財や資料の保存における問題となっている。災害への対応事例を報告して、博物館や自治体の今後の取り組みの参考とする。

【平成 28 年度】

テーマ1「空気環境と展示対策」

展示ケースや展示台の内装材（合板・クロス・接着剤）などから放散される有害ガスが資料に大きな影響を及ぼすことが指摘されている。こうした文化財や資料の保存環境に関する研究プロジェクトが東京文化財研究所を中心に進められており、その概要を紹介して、今後の博物館での取り組みの参考とする。

事例報告「温湿度管理」

本館が公開承認施設を取り消された原因は、資料を保管するための適切な温湿度管理ができないことであった。改修工事によって、温湿度管理がどのように改善されたのかを報告する。

テーマ2「資料の取扱い及び修復」

指定文化財の毀損事故は、企画展などに伴う梱包・輸送・展示作業中に発生する確率がきわめて高い。学芸員や文化財担当者は、資料や文化財の取扱いに関する技術をきちんと身につけるとともに、事故が発生した後の修復に関する知識も併せてもつことも重要であり、資料の取扱いと修復に関する基本的な考え方を実習を通して理解する。

5. 本年度の予定

- (1) 日 時 平成26年9月19日（金） 13:00～17:00
- (2) 場 所 本館視聴覚室
- (3) 内 容
- テーマ1「生物被害への対策－害虫の同定と二酸化炭素燻蒸－」
講師 （財）文化財虫害研究所理事長 三浦定俊氏
日本液炭（株）高崎営業所所長 亀山欽史氏
- テーマ2「ミュージアムITの取り組み」
講師 早稻田システム開発（株）代表取締役 内田剛史氏
- 事例報告「本館の施設・設備の課題と改修工事」
講師 本館職員
- (4) 対 象 県内博物館・資料館等職員、県内市町村文化財担当者ほか
- (5) 申込方法 別紙申込書を本館あて送付（FAX・電子メールでも可）
〒370-1293 高崎市綿貫町992-1 担当 学芸係 江原岳志
電 話 027-346-5522 FAX 027-346-5534
Eメール ebara-ta@pref.gunma.lg.jp
申込期限は平成26年9月18日（木）まで

(3) 収集資料

本年度の収集資料は、寄贈資料 8 件 1507 点、購入資料 1 件 2 点、移管資料 0 点、採集資料 0 点
で、合計 9 件 1509 点。総計 100,001 点となる。

ア 平成26年度所蔵資料集計

部 門	自 然	考 古	歴 史	美術工芸	民 俗	教育普及	合 計
	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点
寄贈資料	0-0	1-208	7-1299	0-0	0-0	0-0	8-1507
購入資料	0-0	0-0	1-2	0-0	0-0	0-0	1-2
移管資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
採集資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
26年度	0-0	1-208	8-1301	0-0	0-0	0-0	9-1509
総 計	129	32,891	45,285	2,504	19,043	1,130	100,001

イ 寄贈資料 8件1507点

No.	部門	資料名称	点数	寄贈者	住所
1	1 歴史	紙幣	1点	合資会社 後藤	桐生市
	2 歴史	硬貨	836点	大谷 韶男	玉村町
2	1 歴史	船津伝次平の日記(明治11年)	1冊	船津 洋平	前橋市
	2 歴史	船津伝次平の日記(明治15年)	1冊	"	"
	3 歴史	船津伝次平の短冊	2枚	"	"
3	1 歴史	飯塚正文文庫	1052冊	伊東 且子	高崎市
4	1 歴史	官軍通行資料	1点	飯塚 徳子	前橋市
5	1 考古	倉洲村権田出土土器	208点	小林 健次	高崎市

ウ 購入資料 1件2点

No.	部門	資料名称	点数
1	1 歴史	木戸家文書慶応元年10月5日楳取素彦書状(複製品)	2点

エ 移管資料 0件

オ 採集資料 0件

カ 寄託資料 131件 4,483点

No.	部門	資料名称	点数	寄託者	住所
1	1 歴史	定期演奏会プログラム	3点	群馬交響楽団	高崎市
2	1 歴史	大正時代の珍紺銘仙	1点	伊勢崎織物工業組合	伊勢崎市
3	1 歴史	四君子図、ハンデルブルグ竊理書抄	2点	学校法人新島学園	安中市
4	1 美工	太刀 長谷部義重	1点	愛宕神社	高崎市
5	1 考古	冠状石器	1点	新井 正治	神流町
6	1 考古	大槌出土 縄文土器	1点	荒木 正美	太田市
7	1 歴史	板鼻宿駄賃高札	1点	安中市板鼻公民館	安中市
8	1 考古	上種木磨寺出土軒丸瓦・軒平瓦	2点	伊勢崎市立殖蓮小学校	伊勢崎市
9	1 考古	箕輪城二ノ丸遺跡出土縄文時代深鉢形土器	1点	磯部 トミ	高崎市
10	1 歴史	猪狩家資料	54点	猪狩家文化財管理者	神奈川県
	2 歴史	猪狩家所蔵書籍	824点	"	"
11	1 民俗	皮靴、鉄かぶと、防空頭巾、下駄 他	53点	今井 壽之輔	渋川市
12	1 歴史	下河田村検地帳	5点	生方 隆司	沼田市
13	1 歴史	沼田藩藩札	1点	梅沢 重昭	前橋市
14	1 美工	太刀 備前国長船住助久通、永仁陸年五月日 附、感状1幅	1口	浦野 和美	高崎市

15	1	民俗	摺摺	1点	太田 敏雄	館林市
	2	民俗	かん燈	1点	"	"
	3	民俗	兵法法関係法規	1点	"	"
	4	民俗	産札	1箱	"	"
	5	民俗	はんこ	5点	"	"
	6	民俗	燈籠	4点	"	"
16	1	美工	島霧谷・隆夫妻関係資料(絹本着色水引を持つ女性像)	1点	岡田 実	桐生市
17	1	考古	澧谷出土資料	25件231点	小野 崇作	昭和村
18	1	歴史	春日燧関係書簡	1箱	春日 均	茨城県
19	1	美工	古澤福吉旧蔵資料	1箱	金井 よし子	高崎市
20	1	考古	枯木出土石包丁 他	5点	唐沢 太郎	中之条町
21	1	美工	産餅屏風	1双	菊池 和美	高崎市
22	1	美工	ペルギー製回転弾倉式けん銃	1丁	桐生市教育委員会	桐生市
	2	美工	青龍刀	1口	"	"
	3	美工	薙刀	1口	"	"
	4	考古	重要文化財 上野千綱谷戸遺跡出土品(桐板製座板含む)	849点	"	"
23	1	美工	県指定重要文化財 天満宮社殿附家之図	1幅	桐生天満宮	"
24	1	民俗	帯(明治期)、着物(男子・女子用) 他	26点	黒澤 眞治	藤岡市
25	1	考古	観音山古墳石室用石材	1箱	群馬県教育委員会	前橋市
26	1	歴史	養蚕法原書	4冊	群馬県農政部蚕糸園芸課	"
27	1	考古	石山南古墳出土埴輪 他	55件	群馬大学教育学部	"
28	1	歴史	大般若経(折本)	600巻	光厳寺	"
29	1	歴史	後醍醐天皇和歌、足利義輝書状、脇屋義助短歌	3点	徳閑 保	高崎市
30	1	考古	倉淵村権田出土土器	1箱	小林 健次	"
31	1	歴史	小林家文書	29巻	小林 得人	山形県
32	1	考古	北米阿遺跡出土 甕形土器	1点	斎田 英一	伊勢崎市
33	1	歴史	コントラバス	2点	群馬交響楽団	高崎市
	2	歴史	馬垂ティンパニー	2点	"	"
	3	歴史	定期演奏会プログラム	3点	"	"
34	1	歴史	御用箱	1点	齋藤 和子	太田市
35	1	考古	双鳳八絛鏡	1点	産泰神社	前橋市
	2	考古	六鈴鏡	1点	"	"
	3	考古	半円方格帯四神四獣鏡	1点	"	"
	4	考古	桐紋藻菜鏡	1点	"	"
	5	考古	持文花鏡(菱鏡藻菜鏡)	1点	"	"
36	1	美工	島霧谷・隆夫妻関係資料	1箱	島 繁一	桐生市
37	1	美工	絹本着色観桜舟遊園屏風	1双	島田 明仁	藤岡市
38	1	美工	木造不動明王立像	1躯	総持寺	太田市
39	1	美工	紙本墨画岩松尚純像	1幅	青蓮寺	"
40	1	美工	二十五菩薩来迎図	1幅	宗本寺	中之条町
41	1	美工	紙本金地秋草花卉図	1幅	淨運寺	桐生市
42	2	美工	紙本金地孔雀牡丹図	1幅	"	"
43	1	美工	曼荼羅	1幅	白石 勤	藤岡市
44	2	美工	銅製鏡子	1口	住谷 俊樹	高崎市
45	2	美工	破片	3点	"	"
46	1	考古	上野国分寺跡出土品	100点	住谷 幹也	"
47	1	考古	富岡市上高尾西日向出土 経筒、同容器	2点	関 博明	富岡市
48	1	歴史	関札「高須少将休」	1点	関根 弘樹	伊勢崎市
	2	歴史	関札「因幡少将休」	1点	"	"
49	1	美工	絹本着色白盧生禪師像	1幅	泉龍寺	"
48	1	美工	刀 銘 和泉守兼重	1口	高崎市長 富岡 賢治	高崎市
	2	美工	脇差 銘 豊後国重行	1口	"	"
	3	美工	短刀 無銘	1口	"	"
	4	美工	槍 無銘	1口	"	"
	5	美工	刀 銘 上野国長谷部義重	1口	高崎市長 富岡 賢治	"
49	1	美工	同上刀器具(右京拵)	1式	"	"
	2	美工	同上刀器具	1式	"	"
	3	美工	短刀 無銘	1口	"	"
	4	美工	同上刀器具	1式	"	"
	5	美工	刀 銘 上野住継政 昭和十九年七月日	1口	"	"
50	1	考古	中央小遺跡出土資料	18点	高崎市立倉淵小学校	"
51	1	歴史	老農夜話	1巻	瀧澤 芳男	"
52	1	考古	川瀬出土資料等	12件81点	竹内 俊明	昭和村
53	1	考古	八幡山・若田原遺跡出土 土偶・縄文土器破片・勾玉	3点	田島 桂男	高崎市
54	1	考古	鉄製素文鏡・六鈴鏡	2点	田中 亮	"
55	1	歴史	関引線馬	1点	地野 茂雄	みなかみ町
56	1	美工	長楽寺資料	21件189点	長楽寺	太田市
57	1	美工	刀(藤枝太郎英義作之/慶應二寅年八月日)	1口	土屋 喜英	高崎市
	2	美工	刀(上野住継政/高山彦九郎先生百五拾年記念)	1口	"	"
	3	美工	管打ち式鉄砲 無銘	1口	"	"
58	1	歴史	天狗岩岩用水絵図	1点	天狗岩堰土地改良区	前橋市
59	1	美工	木刀(銘了戒)	1口	東照宮	太田市
60	1	歴史	土岐家資料	1箱	土岐 百合子	東京都
61	1	美工	締沼山岳画(富岡コレクション)	50点	富岡 三彌	太田市
62	1	歴史	下川文書(付けたり包紙)	8点	中澤 力司	伊勢崎市
63	1	民俗	婦人の着物、手提げ袋 他	16点	中島 庸一	沼田市

84	1	考古	香炉型土器	1点	中野 三義	東吾妻町
	2	考古	石刀	1点	"	"
85	1	歴史	軍用襷模型	4点	長浜 和助	大泉町
	2	歴史	防弾板	1点	"	"
86	1	歴史	一揆勘弁の木札	1点	中山 公平	安中市
87	1	歴史	新田家資料	87点	新田 陽子	東京都
	2	歴史	新田家書画資料	70点	"	"
88	1	歴史	街道関係資料	3点	平形 作太郎	高山村
	2	歴史	地租改正道具	7点	"	"
	3	歴史	『正副区長・戸長・及び立会人職制概則』	1点	"	"
89	1	美工	太刀 銘長光	1口	平田 経子	前橋市
	2	美工	刀 銘兼元	1口	"	"
	3	美工	刀 銘盛高	1口	"	"
70	1	歴史	上杉輝虎(謙信)書状写	1点	星 龍之丞	高崎市
71	1	美工	紙本着色泰西王侯図	2幅	満福寺	藤岡市
	2	美工	紙本着色連璧図	1幅	"	"
72	1	考古	上北ノ様出土 剣形石斧	1点	三田 和平	富岡市
73	1	歴史	新町宿三俣本家資料 A群	103点	三俣 修一	前橋市
	2	歴史	新町宿三俣本家資料 B群	66点	"	"
74	1	歴史	群馬県誌(皇紀2800年記念)	1点	光山 武夫	伊勢崎市
75	1	美工	妙安寺資料	12件12点	妙安寺	前橋市
76	1	歴史	森山芳平関係資料	528点	森山 茂	千葉県
77	1	美工	短刀 銘 實麻 及び付属品	1式	安田 晶子	藤岡市
78	1	民俗	郷土風コレクション	377件408点	山鹿 英助	桐生市
79	1	歴史	吉田家資料	1指	吉田 允彦	東京都
80	1	歴史	稲妻の鐘(保管用笠3個付き)	1式	朝政神社	高崎市
81	1	歴史	馬術(くつわ)	1点	渡 孝行	東吾妻町
82	1	民俗	小八木人形の首、白尉・黒尉面	28点	鶴宮神社	高崎市
	1	美工	松平大和守家歴代藩主画像	10幅	孝圓寺	前橋市
	2	美工	結城政勝画像	1幅	"	"
	3	美工	松平大和守直矩兼絹本着色菊図	1幅	"	"
83	4	美工	松平大和守直矩書写紺紙金泥妙法蓮華経提婆達多品	1冊	"	"
	1	歴史	庶物利用全書 他	30点	小山 友孝	渋川市
85	1	歴史	千人針	1点	細谷 昇次	高崎市
86	1	歴史	高札	1点	吉田 重雄	桐生市
	2	民俗	山高帽、袴、ネクタイ	25点	"	"
87	1	美工	小鳥が島出土鏡	12面	赤城神社	前橋市
88	1	美工	銅造虚空蔵菩薩懸仏	1軀	長光寺	伊勢崎市
89	1	考古	白石稲荷山古墳南側所在古墳 出土遺物	1拵	飯玉神社	藤岡市
90	1	考古	桐生市新里町出土 土版	1点	近藤 直子	桐生市
	2	考古	桐生市千綱谷戸出土 土偶脚部	1点	"	"
91	1	歴史	膳、しゃもじ、飯櫃 他	23点	関 勝信	前橋市

5 利用状況

(1) 利用者数

ア 月別利用者数

() 内は開館日数

月 (日 数)	4月 (10)	5月 (27)	6月 (25)	7月 (26)	8月 (28)	9月 (24)	10月 (0)	11月 (0)	12月 (0)	1月 (0)	2月 (0)	3月 (0)	計 (140)
観 覧 者	一 般	854	1,938	1,352	1,588	2,472	1,258						9,462
	高・大学生	17	61	64	53	117	59						371
	小・中学生	339	3,413	2,989	2,574	1,723	735						11,773
	幼 年 者	85	152	89	228	334	115						1,003
	身 障 者	43	93	61	104	105	76						482
	小 計	1,338	5,657	4,555	4,547	4,751	2,243	0	0	0	0	0	0
行 事 参 加 者	2,013	2,404	1,044	1,827	4,785	1,576		1,492	1,157	1,346	1,229	371	19,244
計	3,351	8,061	5,599	6,374	9,536	3,819	0	1,492	1,157	1,346	1,229	371	42,335
累 計	3,351	11,412	17,011	23,385	32,921	36,740	36,740	38,232	39,389	40,735	41,964	42,335	

イ 学校団体等行事参加者数

(幼・小・中学生観覧者数に含まれ、複数のプログラムに参加の学校も有り)

月 (日 数)	4月 (10)	5月 (27)	6月 (25)	7月 (26)	8月 (28)	9月 (24)	10月 (0)	11月 (0)	12月 (0)	1月 (0)	2月 (0)	3月 (0)	計 (140)
ワ ー ク シ ョ ッ プ	火おこし	99	2,431	2,726	1,541	263	315						7,375
		3	31	32	22	3	5						96
	石臼						33						33
							2						2
	その他				10		64						74
				1		1						2	
歴史探検	99	1911	1,882	929	186	337							5,344
計	198	4,342	4,608	2,480	449	749	0	0	0	0	0	0	12,826
累 計	198	4,540	9,148	11,628	12,077	12,826	12,826	12,826	12,826	12,826	12,826	12,826	

ウ 行事参加者数(個人・団体)

月 (日 数)	4月 (10)	5月 (27)	6月 (25)	7月 (26)	8月 (28)	9月 (24)	10月 (0)	11月 (0)	12月 (0)	1月 (0)	2月 (0)	3月 (0)	計 (140)
行事参加者	2,013	2,404	1,044	1,827	4,785	1,576							13,649
学校団体行事参加者	198	4,342	4,608	2,480	449	749							12,826
計	2,211	6,746	5,652	4,307	5,234	2,325	0	0	0	0	0	0	26,475
累 計	2,211	8,957	14,609	18,916	24,150	26,475	26,475	26,475	26,475	26,475	26,475	26,475	

エ 団体利用者数

月 (日数)		4月 (10)	5月 (27)	6月 (25)	7月 (26)	8月 (28)	9月 (24)	10月 (0)	11月 (0)	12月 (0)	1月 (0)	2月 (0)	3月 (0)	計 (140)
一般	団体数	1		2	1	1								5
	人数	23		78	28	22								151
高・ 大生	団体数			3										3
	人数			23										23
中学 生	団体数		1	2	2	1								6
	人数		116	33	129	17								295
小学 生	団体数	3	39	35	28	4	10							119
	人数	92	2,846	2,806	1,709	348	518							8,319
幼 年	団体数				1									1
	人数				38									38
身 障	団体数													0
	人数													0
社教 等	団体数		3	6	5	9	4							27
	人数		65	86	54	220	75							500
計	団体数	4	43	48	37	15	14	0	0	0	0	0	0	161
	人数	115	3,027	3,026	1,958	607	593	0	0	0	0	0	0	9,326
招待者		19	79	17	32	36	45							228

オ 館外開催学校団体等行事参加者数

月 (日数)	4月 (10)	5月 (27)	6月 (25)	7月 (26)	8月 (28)	9月 (24)	10月 (0)	11月 (0)	12月 (0)	1月 (0)	2月 (0)	3月 (0)	計 (140)
歴史デリバリー		64	107	136	177	470		384	292	1,263	922	200	4,015
歴史デリバリー (お出かけ体験)								982	782		215		1,979
計	0	64	107	136	177	470	0	1,366	1,074	1,263	1,137	200	5,994

カ 観覧者数

		有料観覧者	無料観覧者	合計
常設		7,428	15,663	23,091

(2) 資料の特別観覧

下記の資料9件について、特別観覧の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他	計
1	和田英の写真		1				1
2	菅ノ沢遺跡製鉄炉模型	1					1
3	群馬の森建設に伴う旧岩鼻陸軍火薬製造所施設解体工事写真一式		1				1
4	看板「MIRATISS」デッサン「タウト・井上」印（ブルーノタウト関連資料）			2			2
5	正平七年潤二月十五日付新田義興禁制（長楽寺文書）			1			1
6	上人見遺跡出土壺	1					1
7	紙本着色 長谷寺縁起絵巻 下			1			1
8	上毛かるた原画一式				1		1
9	楫取素彦肖像画		1				1

(3) 資料の貸し出し許可

下記の資料98件について、借用の申請があり承認した。

貸出No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	新田道純「猫絵」の画像データ 新田徳純「猫絵」の画像データ								2				2
2	板鼻宿浮世絵の画像データ				1								1
3	綿貫観音山古墳出土埴輪の画像データ3点		3										3
4	群馬県綿貫観音山古墳出土銅水瓶の画像データ		1										1
5	フランス式織糸器械の画像データ				1								1
6	「平惟茂戸隠山に悪鬼を退治す図」（月岡芳年作「新形三十六怪撰」）の画像データ							1					1
7	群馬県太田市塚廻り3号墳出土女子埴輪の画像データ		1										1
8	「足利持氏御内書」（応永年間）の画像データ 「白磁・国産陶器」の画像データ						2						2
9	「老農夜話」の写真5点				5								5
10	天の宮古墳出土小札甲（復元品）の画像データ		1										1
11	版画「上州富岡製糸場図」の画像データ 版画「富岡製糸場工女勉強之図」の画像データ						2						2
12	綿貫観音山古墳出土品の画像データ5点		5										5
13	上野塚廻り古墳群出土埴輪の写真3点		3										3
14	錦絵「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1						1
15	金鏡金経筒	1											1
16	版画「上州富岡製糸場図」の画像データ						1						1
17	「楫取素彦肖像画」の画像データ				1								1
18	湿板写真「カボチャを担いで笑う島渡谷像」の画像データ						1						1
19	「楫取素彦肖像画」の画像データ				1								1
20	「伝酒井忠清坐像」の画像データ				1								1
21	綿貫観音山古墳出土埴輪の画像データ2点		2										2
22	版画「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1						1
23	戦後墨塗り教科書の画像データ				1								1
24	上毛かるた原画写真45点								45				45
25	上野塚廻り古墳群出土埴輪の画像データ		1										1
26	「算額」（弘化3年）の画像データ				1								1
27	「コウモリをさす島降像」の画像データ						1						1
28	「日光御社参御名代御役人附」の画像データ				1								1
29	前橋市山王庵寺出土の「緑袖水注等」の画像データ		1										1
30	「楫取素彦肖像画」の画像データ 「楫取素彦肖像画」の画像データ						1						1
31	「再築前橋城俯瞰図」の画像データ 「酒井氏時代の前橋城俯瞰図」の画像データ				3								3

32	群馬銀行80周年記念特別番組のDVD						1		1
33	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
34	上野塚廻り古墳群出土埴輪の画像データ4点 綿貫観音塚古墳出土品の画像データ6点	10							10
35	「上杉顯定書状」(赤堀文書)の画像データ					1			1
36	版画「上州富岡製糸場工女勉強之図」の画像データ						1		1
37	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
38	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
39	版画「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1		1
40	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
41	錦絵「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1		1
42	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
43	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
44	「浅間山夜分大焼之図」の画像データ					1			1
45	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
46	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
47	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
48	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
49	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
50	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」の画像データ					1			1
51	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
52	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
53	「上野国碓氷郡上磯部村と中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ					1			1
54	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
55	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
56	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
57	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
58	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
59	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
60	「上野国碓氷郡上磯部村と中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ					1			1
61	錦絵「上州富岡製糸場之図」の画像データ 錦絵「上州富岡製糸場」の画像データ 錦絵「工女勉強之図」の画像データ 「碓氷社商標」の画像データ2点				5				5
62	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
63	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
64	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
65	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
66	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
67	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
68	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
69	版画「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1		1
70	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
71	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
72	版画「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1		1
73	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
74	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
75	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
76	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
77	錦絵「上州富岡製糸場」の画像データ 錦絵「工女勉強之図」の画像データ						2		2
78	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
79	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
80	「享保雜」の画像データ						1		1
81	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
82	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
83	「紙本着色泰西王侯図二幅」の写真2点						2		2
84	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
85	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
86	版画「上州富岡製糸場之図」の画像データ						1		1
87	「伝酒井忠清坐像」の画像データ					1			1
88	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
89	「岩松尚純像」の写真					1			1
90	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
91	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
92	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
93	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
94	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
95	「正平7年閏2月15日付新田義興禁制」(長楽寺文書)の画像データ 「観応3年5月日付香林直秀軍忠状」(赤堀文書)の画像データ						2		2
96	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
97	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1
98	「楳取素彦肖像画」の画像データ					1			1

(4) 資料の掲載許可

下記の資料 51 件について、掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
1	榎取素彦肖像画			1								1	
2	綿貫観音山古墳出土人物埴輪 塚廻り古墳群出土人物埴輪	2										2	
3	榎取素彦肖像画			1								1	
4	榎取素彦肖像画			1								1	
5	絵画「旧石器時代の様子」	1										1	
6	榎取素彦肖像画			1								1	
7	榎取素彦肖像画			1								1	
8	榎取素彦肖像画			1								1	
9	榎取素彦肖像画			1								1	
10	吉良氏朝書状(阿久沢文書)			1								1	
11	高山社蠶業學校高山社蠶室(前集合写真)			1								1	
12	オクマン山古墳鷹をあやつる男埴輪	4										4	
13	男爵榎取素彦肖像画			1								1	
14	男爵榎取素彦肖像画			1								1	
15	榎取素彦肖像画			1								1	
16	榎取素彦肖像画			1								1	
17	騎馬人物埴輪		1									1	
18	高山社蠶業學校高山社蠶室(前集合写真)			1								1	
19	高塚古墳出土武人埴輪	1										1	
20	榎取素彦肖像画			1								1	
21	榎取素彦肖像画			1								1	
22	版画「上州富岡製糸場図」						1						1
23	榎取素彦肖像画			1								1	
24	塚廻り古墳から出土した王位継承の儀礼を表現したとされる埴輪	1										1	
25	25分の1ソリッドモデル(軍用機模型) 疾風の防弾版			2								2	
26	榎取素彦肖像画			1								1	
27	上州磯部鉱泉之略図			1								1	
28	高崎市名所絵葉書 田町通り			1								1	
29	男爵榎取素彦肖像画			1								1	
30	榎取素彦肖像画			1								1	
31	榎取素彦肖像画			1								1	
32	榎取素彦肖像画			1								1	
33	榎取素彦肖像画			1								1	
34	榎取素彦肖像画			1								1	
35	榎取素彦肖像画			1								1	
36	李寿墓 出行図 (No.6) 李賢墓 礼賓図 (No.117・118)						3					3	
37	榎取素彦肖像画 峯岸米造肖像画			2								2	
38	榎取素彦肖像画			1								1	
39	春日蝶の手紙(明治6年4月1日)			1								1	
40	富岡製糸場模型			1								1	
41	ブルーノ・タウト資料 モザイク丸形小箱					1						1	
42	榎取素彦肖像画			1								1	
43	榎取素彦肖像画			1								1	
44	榎取素彦肖像画			1								1	
45	「高山社事務所写真帖」			16								16	
46	「高山社事務所写真帖」			1								1	
47	八束脛洞窟遺跡出土孔人歯骨	1										1	
48	緋威大鎧 甲冑金具「避来矢」						2					2	
49	鍾馗のぼり							1				1	
50	榎取素彦肖像画			1								1	
51	小正月のツクリモノ 「アボヘボ」図版 " 「アワボヒエボ」図版 " 「カユカキボウ」図版								3				3

6 改修工事

(1) 資料移転作業

ア 概要

歴史博物館改修工事に伴い、7つの収蔵庫（考古・歴史・美術工芸・民俗・自然・特殊）、及び展示室で保管している博物館資料を館外の4箇所の保管場所へ移転するため、梱包・搬出作業を行った。梱包・搬出作業は、日本通運株式会社群馬支店と委託契約して実施した。保管場所・位置・資料等は、次のとおりである。

場所	位置	保管資料の分野				所有区分		
		考古	歴史	美工	民俗	館蔵	国有	寄託
文書館	3F収蔵庫		○			○		
農林大学校	黎明寮2F	○	○		○	○		
	黎明寮3F	○	○		○	○		
藤岡歴史館	特別収蔵庫1	○				○		
	特別収蔵庫2		○			○		
	考古収蔵庫	○				○		
高崎倉庫	100番倉庫	○	○	○	○	○		
	B室	○	○	○	○	○	○	○
	収蔵庫	○	○	○		○	○	○

イ 作業工程及び担当者

資料移転作業は、平成27年5月14日から開始し、10月24日に完了した。作業工程及び担当者は次のとおりである。なお、移転完了後、4箇所の保管場所における管理を徹底するために、定期的な巡視・点検や温湿度調査や空気環境調査等を学芸係で分担して実施している。

①文書館

歴史（小野瀬・中山） 5月14日・15日・16日・19日・20日・21日

②藤岡歴史館

考古（新井・江原） 5月27日・28日・29日・30日、6月3日・4日・5日・6日

歴史（新井・江原） 6月9日・10日

③高崎倉庫

図書（中山・村田） 6月24日・25日・26日・27日、7月1日・2日

歴史（中山・江原） 7月17日・18日・19日・22日・23日・24日・25日

美工（築瀬・中山） 7月26日・28日・29日・30日・31日、8月1日・4日・5日

考古（小池・新井） 7月9日・11日・12日

8月6日・7日・8日・11日・12日・13日・14日・18日・19日

8月21日・22日・23日・25日・26日・28日・29日

民俗Ⅰ（小野瀬・江原） 7月3日、9月2日・3日

民俗Ⅱ（築瀬・中山） 9月16日・17日・18日・20日・22日・24日・25日・26日・30日、
10月1日・2日・3日

展示資料（展示室担当） 10月6日・7日・8日・9日・10日・14日・15日・16日・17日
10月20日

展示ケース（築瀬） 10月21日・22日・23日・24日

④農林大学校

考古（新井）

7月15日・16日

民俗Ⅰ（小野瀬・江原）

9月4日・5日・8日・9日・10日・11日・12日

(2) 事務所等管理部門の移転作業

改修工事に伴う事務所等管理部門の移転については、博物館資料の移転が終了した後、実施をした。対象は、展示室から収蔵庫、管理部門の事務室など博物館建物全体に及んだ。

ア 移転概要

①日 時：第1回目：平成26年10月6日～10月9日

第2回目：平成26年10月28日～10月31日

②保管先：イの一覧のとおり

③対象物：イの一覧のとおり

④移転費用：3,185,200円

⑤新事務所：〒370-0829 高崎市高松町6 西部児童相談所3F 旧事務室

TEL:027-310-6020 FAX:027-310-6023

イ 移転作業一覧

搬出元	対象物	搬出先 農技：旧農業技術センター 児相：西部児童相談所	備考
展示室	ベンチ・サイン等什器類 パネル・展示台等展示補助具類	農技本館・西収納庫	
収蔵庫	机・ロッカー等什器類 除湿機等機器類	農技本館・西収納庫	
研究室	机・書架等什器類 カメラ・三脚等機器類	農技本館・西収納庫 児相3F新事務所	
収蔵庫4	普及事業用道具類 図録・紀要等有償頒布図書 庶務事務用品等	農技本館	
中庭・学習室	普及事業用消耗品類 グラインダー等工作機械類	農技本館 児相リハビリ棟1F	
事務室	机イス・書庫ロッカー等什器類 電話・FAX等機器類	児相3F・リハビリ棟	
その他	館長室家具類、会議室机・イス 荷解場工具、備品等	農技本館・西収納庫 児相3F新事務所	

(3) 改修工事の状況

ア 発注状況

歴史博物館改修工事については、建築・展示ケース・電気設備・空調設備・給排水設備の5つの工事区分により建築住宅課が発注した。また展示については、展示製作委託として文化振興課が発注した。契約額及び落札業者、改修スケジュールについては次のとおりである。

区分	担当課	契約額(千円)	落札業者
建築工事		1,139,400	
建築工事(本体)	建築住宅課	847,800	佐田・神宮・昭和JV
展示固定ケース設置工事	建築住宅課	291,600	(株)丹青社
電気設備工事	建築住宅課	235,440	群電・門倉電機JV
機械設備工事		577,800	
空調設備工事	建築住宅課	480,600	ヤマト・金井JV
給排水衛生設備工事	建築住宅課	97,200	藤田エンジニアリング(株)
小計		1,952,640	
展示製作業務委託	文化振興課	327,240	(株)丹青社
合計		2,279,880	

	26年度				27年度				28年度				29年度													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
工事期間	発注準備				改修工事(12月)				室内環境				調査(12月)				クランドオープン									
	発注準備				展示工事(13月)				室内				環境調査(12月)				クランドオープン									
休憩期間	常設展示(26年9月まで)				休館(18.5月)				通史展示・テーマ展示				休館(3.5月)				クランドオープン									

イ 進捗状況

10月22日(水)、歴史博物館にて第1回全体工程会議が開催し、11月から改修工事が着手され、内部解体、既存躯体状況確認及び補修を進めており、進捗状況は平成27年3月末で建築工事において10%程度である。

この間、全体工程会議及び分科会を18回開催した。また平成26年12月22日(月)に文化庁美術学芸課宇田川滋正文化財管理指導官、平成27年2月17日(火)に東京文化財研究所佐野千絵保存科学研究室長による現地指導、3月19日(木)に本多悦子生活文化スポーツ部長による現地視察が実施された。

文化庁及び東京文化財研究所の現地指導において、既存躯体にはクラック・ジャンカ・穴などの施工時または経年劣化による問題箇所が多く、水の侵入を防ぐ補修を完璧に行う必要があること、問題箇所についてはきちんと記録に残して改修後もしっかりと点検すること、工程的に非常に厳しいがしっかりと躯体を補修することを最優先として展示製作を急がないことなどの指導を受けた。

(4) 展示製作の状況

ア 展示製作調整会議

歴史博物館・文化振興課・丹青社の3者合同で、4回の展示製作調整会議を開催した。会議では、外部検討委員会の検討内容を中心に展示担当からそれぞれの展示室の進捗状況を報告して館

全体で情報を共有するとともに、展示製作の仕様変更をはじめとする懸案事項等について協議を行った。本年度の展示製作は、群馬県立体地図模型・綿貫観音山古墳墳丘模型・富岡製糸場模型などの撤去・搬出が行われた。また、通史展示の展示項目、展示資料及び展示レイアウトについて、6回の外部 検討委員会をへて決定した。展示製作調整会議の開催日程は次のとおりである。

第1回 平成27年1月6日(火) 第2回 平成27年2月2日(月)
 第3回 平成27年3月3日(火) 第4回 平成27年3月17日(火)

イ 新たな通史展示の大項目・中項目

第4回展示製作調整会議は、第2回外部検討委員会全体会と兼ねて開催したが、新たな展示項目・展示資料・展示レイアウトについて承認を得た。そのうちの展示項目は次のとおりである。

【東国古墳文化展示室（小池）】

大項目	中項目
綿貫観音山古墳の世界	巨大墳丘と立ち並ぶ埴輪群像
-東国を代表する上毛野の王-	巨大石室と豪華な副葬品 東アジアにおける文化交流

【原始（新井）】

大項目	中項目
遊動する旧石器人	狩猟採集民の道具 移動生活と石器づくり
成熟する縄文社会	土器文化と定住生活 縄文の呪術
農耕社会への道のり	再葬墓の世界 水稻農耕文化の展開 人の移動と社会の再編

【古代（小池）】

大項目	中項目
東国の開拓と古墳社会	平野の大開発と古墳の登場 巨大前方後円墳を生み出した力 馬文化と東国の要衝 上毛野のむらとくらし
東国の政治と文字文化	上毛野国から上野国へ 文字を書く・読む・伝える 都と東北を結ぶ道 揺れ動く政治と社会

【中世（築瀬）】

大項目	中項目
東国武士の原風景	淵名荘と新田荘 石塔と石仏のある風景 新田義貞のふるさと
大乱の始まり	新田氏から上杉・長尾氏へ 越境する人と文化 上州ブランドの黎明
戦乱から統一へ	戦国の城をさぐる 戦国大名の登場 戦国の村の歳時記

【近世（中山）】

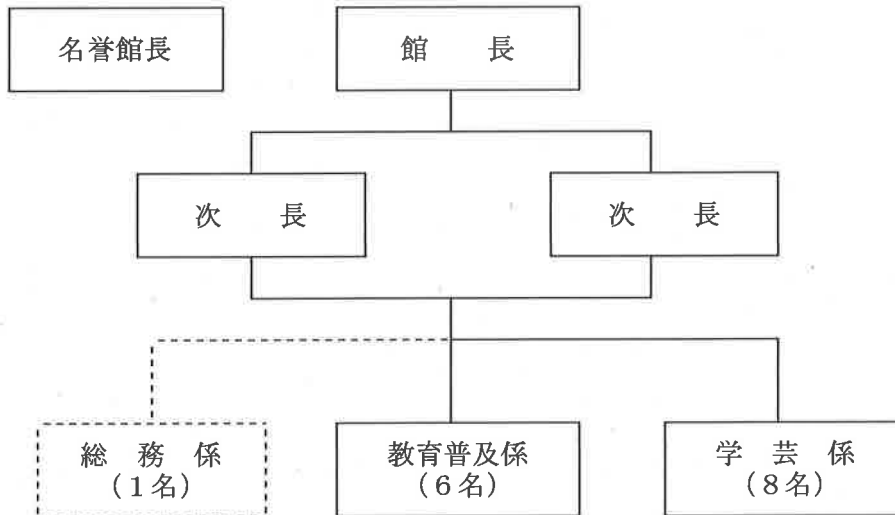
大項目	中項目
泰平の世の始まり	上州の大名 村のくらしと新田開発
躍動する民衆	蚕糸・織物業の隆盛 水陸交通の十字路 上毛三山への参詣 華開く上州の文化
武士の時代の閉幕	災害と人びとのくらし 開港と幕末の動向

【近現代（江原）】

大項目	中項目
近代の群馬の歩み	上野国から群馬県へ 蚕糸業の近代化 生糸貿易と海外文化の流入 群馬の教育文化 発展する群馬の鉱工業 近代群馬を代表する人物
戦争とくらし	群馬の軍事施設 戦時下の生活
現代の群馬	戦後復興のシンボル 交通網の充実 高度経済成長と産業の変化

II 組織及び運営（平成26年4月1日現在）

1 運営組織



兼務職員 1 名 嘱託(解説員) 7 名 嘱託(教育普及員) 2 名 嘱託(資料整理員) 1 名
兼務嘱託(設備管理) 3 名

2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
歴史博物館運営	127,815	嘱託職員経費	館長他嘱託職員人件費	13,933	99	雇用保険料個人負担分
		館管理運営	施設設備保守、光熱水費他事務経費	32,824		
		改修工事運営	外部検討委員会	81,058		
博物館展示	5,038	常設展示	展示製作、展示品保全	5,038	1,427	博物館入館料
					190	図録販売収入
教育普及活動	2,865	普及活動	博物館だより・博物館カレンダー作成	562		
		学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成	1,550		
		体験学習	学校向け及び一般向け体験学習実施	753		
調査研究	3,534	資料収集管理	資料収集、收藏品管理、資料情報システムの運用	2,002		
		調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	930		
		情報システム整備	收藏資料管理・公開システムの構築	602		
合計	130,252				1,718	

群馬県立歴史博物館 年報

第36号 (平成26年度版)

平成27年9月1日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-0829 高崎市高松町6

TEL (027) 310-6020

FAX (027) 310-6023